

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	岐 阜 県
-------	-------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	岐阜市立長良中学校			フロンティアチャ-	浅井 誠	
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	1	13	26
生徒数	149	146	141	1	437	

研究の概要

1. 研究主題

<p>研究主題： 「基礎・基本」の確かな定着を図る学習指導 副主題： ~個に応じたきめ細かな指導法を求めて~</p>
--

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>実施学年・教科 1年：数学，理科，英語      2年：数学，理科，英語 3年：数学，理科，英語，選択教科(国語，社会，数学，理科，英語) その理由 ・生徒の学習状況に大きく差の表れる教科であるため。(数学・理科・英語) ・生徒の安全面に配慮する教科であるため。(理科) ・これまでの研究成果と生徒に対する実態・意識調査の結果から，履修・教科の枠を広げ個に応じたきめ細かな指導の充実をめざした研究を推進するため。(選択教科)</p>
---

(2) 年次ごとの計画

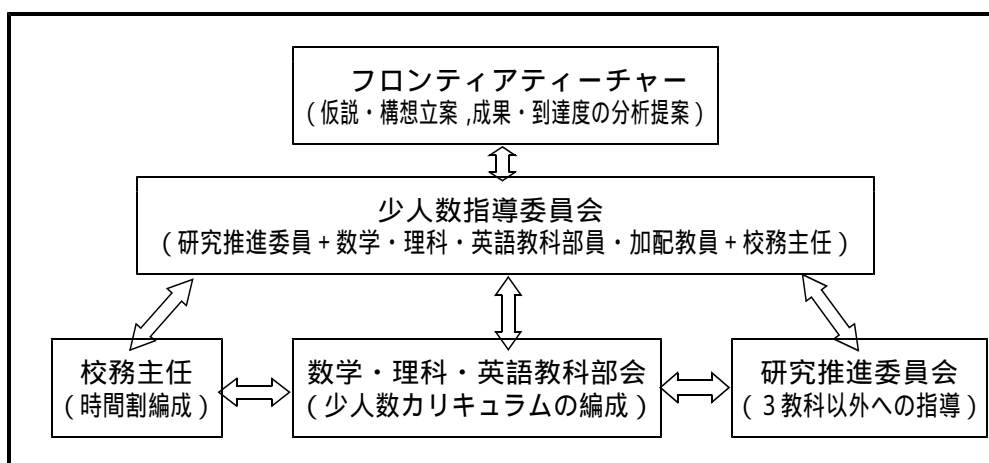
平成14年度	<p>研究主題 「基礎・基本」の確かな定着を図る学習指導 ~個に応じたきめ細かな指導法を求めて~ 仮説 個に応じたきめ細かな指導を求めていけば，子ども一人一人に「基礎・基本」の確かな定着を図ることができる。 研究内容・方法 (1)，(2)，(3)の      に重点を置いて，研究を進めた。</p>
平成14年度	<p>(1) 少人数指導実施のための体制づくり 少人数指導に対する基本的な考え方の明確化 少人数指導委員会の確立 時間割の編成の仕方，余裕教室の活用法の究明 (2) 生徒・地域・保護者への啓発 (3) 指導方法の工夫・改善 指導計画の作成と教材の開発 少人数集団の編成の在り方の究明 効果的な学習過程と指導・援助の在り方の究明 評価と指導の在り方の究明</p>

平成15年度	<p>研究主題 「基礎・基本」の確かな定着を図る学習指導 ～個に応じたきめ細かな指導法を求めて～</p> <p>仮説 個に応じたきめ細かな指導を求めていけば，子ども一人一人に「基礎・基本」の確かな定着を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法 (2)の に重点を置いて，研究を進めた。</p> <p>(1) 生徒・地域・保護者への啓発 (2) 指導方法の工夫・改善 指導計画の作成と教材の開発 少人数集団の編成の在り方の究明 効果的な学習過程と指導・援助の在り方の究明 評価と指導の在り方の究明</p>
--------	---

平成16年度	<p>研究主題 「基礎・基本」の確かな定着を図る学習指導 ～個に応じたきめ細かな指導法を求めて～</p> <p>仮説 個に応じたきめ細かな指導を求めていけば，子ども一人一人に「基礎・基本」の確かな定着を図ることができる。</p> <p>研究内容・方法 (1)の ，(2)に重点を置いて，研究を進める。</p> <p>(1) 指導方法の工夫・改善 指導計画の作成と教材の開発 少人数集団の編成の在り方の究明 効果的な学習過程と指導・援助の在り方の究明 評価と指導の在り方の究明 (2) 数学科・理科・英語科以外の教科への個に応じたきめ細かな指導法の普及</p>
--------	---

(3) 研究推進体制

少人数指導を推進するために，少人数指導委員会を設置している。少人数指導委員会のメンバーは，研究推進委員（校長，教頭，教務主任を含む）に加え，数学・理科・英語の各教科部員と校務主任による編成としている。時間割担当の校務主任が中心となり，数学・理科・英語の3教科において，全学級，全時間で，少人数指導が実施できる時間割を編成し，余裕教室の活用を図った。



【図 少人数指導推進組織図】

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

平成14年度においては研究実践の成果としての学習内容定着の程度を分析するため、観点を絞った上で学習の前後に難易度が同程度の問題を用いて比較する調査を行った。その結果、例えば数学科では、計算のつまずきに応じた一人一人への指導や文字を用いて説明することが苦手な子どもへのきめ細かな指導により「表現・処理の能力」「見方や考え方」の高まりが見られるようになった。

平成15年度は、さらに、「少数指導」を生かし、「個に応じたきめ細かな指導」を充実させることで学習内容を確かに定着させることができたかどうかを、平成13年度に国立教育政策研究所が実施した小学校および中学校における教育課程実施状況調査報告書の問題から、観点別評価に生かせる問題を選択し、第2、3学年を対象に調査を実施した。そして、平成13年度の全国の通過率との比較から分析をした。

理科では、「関心・意欲・態度」「科学的思考」「技能・表現」「知識・理解」の四つの観点の問題とも、下表のように全国通過率と比較して高い正答率であった。特に、「観察、実験の技能・表現」の結果については、「基礎・基本」の確かな定着に向けて適切な教師の指導・援助ができ、子どもも「技能、表現」の定着の面で自信を深めることができた現れでもあると考える。また、子どもの見方や考え方を的確にとらえ一人一人の追究の過程に寄り添うことにより、事実をもとに自然を探究し結論付けていくという学びの過程においても満足感をもたせることができるようになってきた。「科学的思考」について高い正答率が得られたことは、個に応じたきめ細かな指導によって、こうした自然を探究していく学習が充実していたことの現れでもあると考える。

観 点	第2学年正答率(全国通過率)	第3学年正答率(全国通過率)
関心・意欲・態度	75.0%(60.3%)	57.6%(39.8%)
科学的思考	66.6%(38.2%)	72.7%(48.9%)
技能・表現	66.6%(39.8%)	66.6%(44.3%)
知識・理解	41.6%(36.3%)	66.6%(27.1%)

表 理科観点別の正答率と全国の通過率の比較

このような調査の結果と少数指導に関わる子どもと保護者の意識調査の結果も踏まえて、今年度までの成果を次のように明らかにした。

少数指導が有効であると判断した場面で積極的に導入したことにより、「個に応じたきめ細かな指導」を充実させることができ、子どもの意欲を高めるとともに、「見方や考え方」を深めたり、「表現・処理」の能力を高めたりすることができた。

自分の思いや考えを積極的に表現したり、既習事項を活用して表現したりする姿など、自信をもって学習に臨む姿が増えてきた。

習熟の程度に応じた少数指導を工夫して実施したことにより、効果的に単元で身に付けさせたい「基礎・基本」を定着させることができた。

## 2. 今後の課題

- ・ 複数の教師による累積的な評価を継続し，その評価から子どものつまずきや伸ばしたい点をより一層明らかにして，指導に生かしていく必要がある。
- ・ 学習集団を編成する基とする調査やカウンセリングの方法などを工夫し，れ子どもにとってその集団で学ぶ必然があり，学びに対する満足感が得られるような学習集団の編成のあり方を一層究明する必要がある。
- ・ 補充的な学習，発展的な学習の充実にあたって，教材，教具の開発も含めて，個に応じたきめ細かな指導の工夫を，より一層推進していかなければならない。

### 学力把握のための学校としての取組

- ・ 学期末の定期テスト（年3回）  
... 単元の学習内容の累積や定着の程度を明らかにする評価問題として実施。
- ・ 単元末のテスト  
... どのような表現や処理，見方・考え方ができるようになったか、生徒が分かるような評価問題として実施。
- ・ 小テスト（適宜）  
... 確認問題・評価問題として，単位時間の後半において生徒が自らの学習の実現状況が把握できるように実施。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 「平成15年度長良中学校中間報告会」の開催  
 日時：平成15年10月25日（土）  
 場所：岐阜市立長良中学校  
 テーマ：「生活をきり拓く力を育てる学習指導」  
 ～個に応じたきめ細かな指導の充実～  
 内容：授業公開，研究会
- 「平成15年度 学力向上フロンティアスクール公表会」の開催  
 日時：平成15年12月22日（月）  
 場所：岐阜市立長良中学校  
 テーマ：「基礎・基本」の確かな定着を図る学習指導  
 ～個に応じたきめ細かな指導法を求めて～  
 内容：授業公開，研究会
- 「平成15年度 学力向上フロンティア事業 岐阜地区協議会」への参加  
 日時：平成15年1月16日（金）  
 場所：羽島市立中央中学校  
 内容：地区協議会分科会（数学科・理科・英語科）における研究実践の発表

- 
- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】             3学級以下                       4～6学級  
                                7～9学級                         10～12学級  
                                13～15学級                       16学級以上
- 【指導体制】             少人数指導                       T・Tによる指導  
                                その他
- 【研究教科】             国語                       社会                       数学                       理科  
                                外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無